

【令和3年度第3回目業務報告 報告内容】

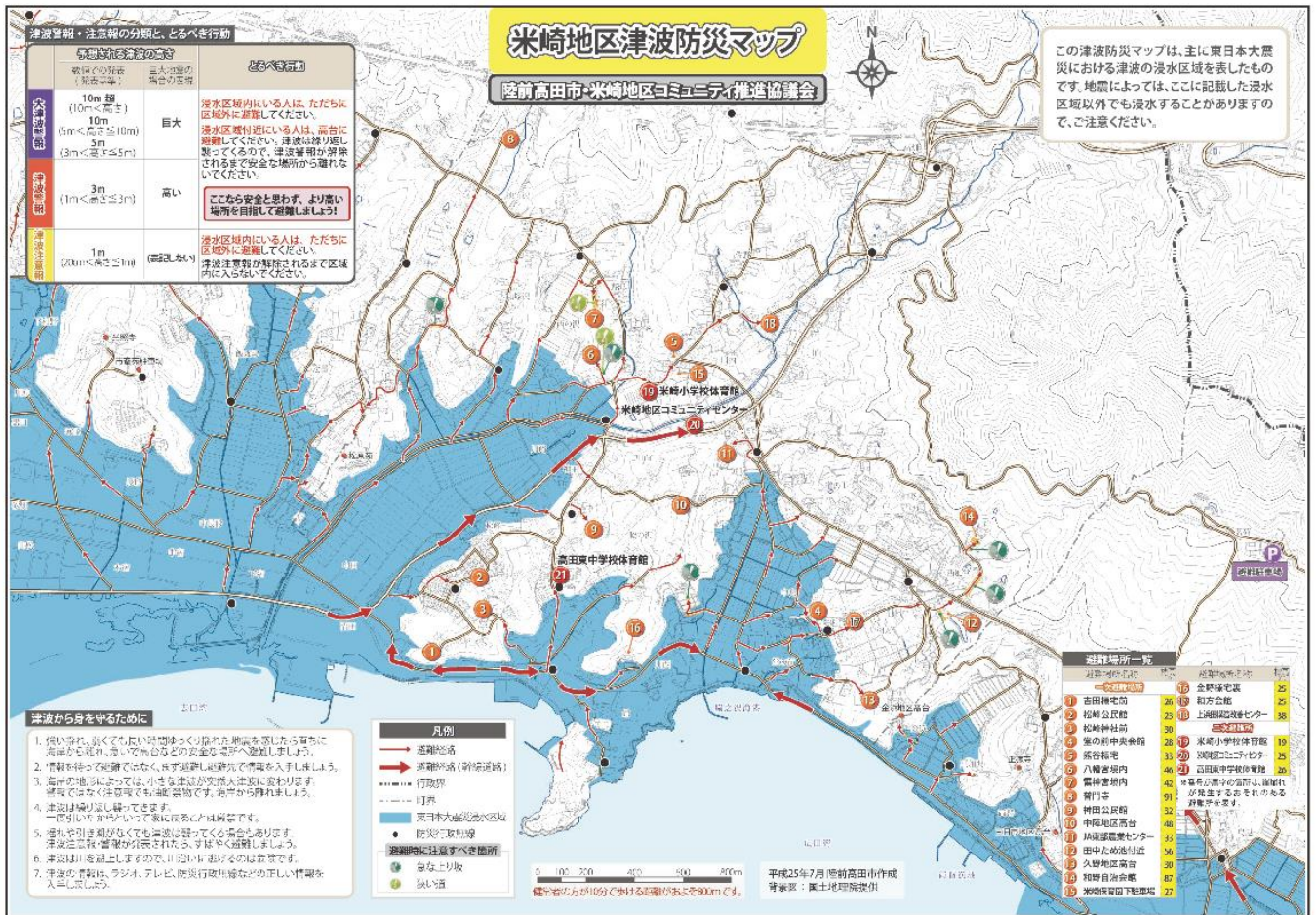
岩手県陸前高田市に派遣されてから約4ヶ月が経過しました。岩手県でも毎日暑い日が続いています。今回の業務報告では、今年度私の担当業務となっている、陸前高田市土砂災害・洪水ハザードマップの作成業務の内容について、報告したいと思います。また、7月17日に震災以降11年ぶりに海開きが行われた高田松原海水浴場の様子や、陸前高田市にある、氷上山を登山した際の様子についても、合わせて報告したいと思います。

(報告内容)

- 1 陸前高田市土砂災害・洪水ハザードマップ作成業務について
- 2 高田松原海水浴場について
- 3 氷上山登山の様子について

1 陸前高田市土砂災害・洪水ハザードマップ作成業務について

ハザードマップは、ある災害が発生した際に、危険と考えられる箇所や、災害時の避難場所などを地図にまとめたもので、全国の自治体で作成されているものです。ハザードマップは、地震や洪水、火山噴火など、災害の種類ごとに作成されており、陸前高田市では、「土砂災害・洪水ハザードマップ」と「津波防災マップ」の2種類のハザードマップが作成されています。

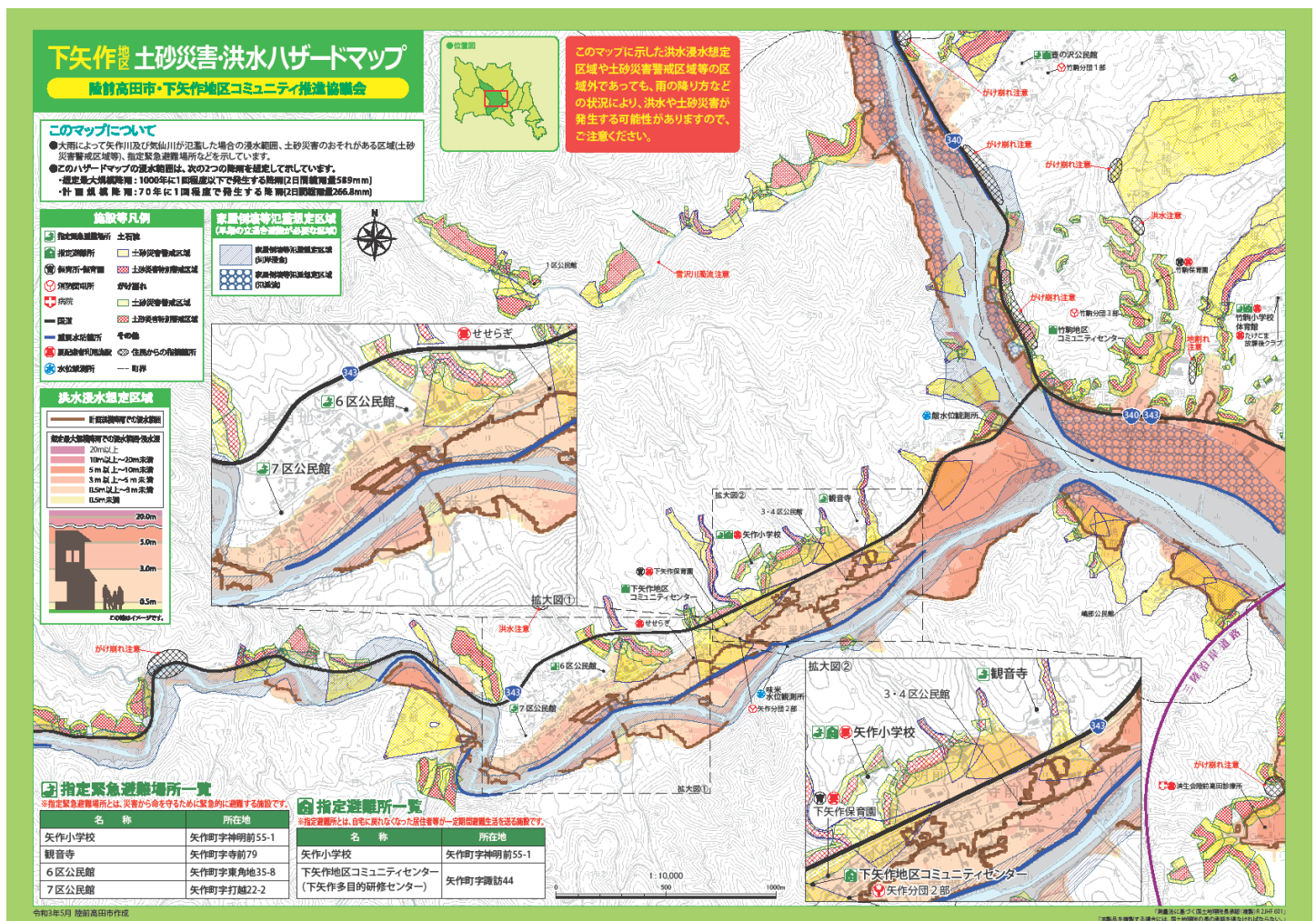


陸前高田市津波防災マップ (米崎地区)

陸前高田市では、地域ごとにハザードマップを作成しています。中でも、令和3年度は、今泉・長部・高田・米崎・広田の5地区において、土砂災害・洪水ハザードマップの更新を行う予定となっています。また、生出・矢作・下矢作の3地区については、令和2年度中に土砂災害・洪水ハザードマップの更新を行う予定となっていました。令和3年5月に災害対策基本法が一部改正され、避難勧告と避難指示を一本化するなど、避難情報の発表方法が変更となったことなどに伴い、それらの内容を盛り込んだ土砂災害・洪水ハザードマップを、今年5月に作成、7月に各対象地区に全戸配布しました。

また、災害対策基本法の一部改正に伴い、避難情報の発表方法が変更となったことについてのチラシを作成し、今年度7月に全戸配布しました。チラシの裏面には、フローチャートを掲載し、市民の方にとっていただく避難行動について、確認していただくよう案内を行いました。

近年、全国各地で台風や豪雨による災害が多発し、テレビやインターネットでもハザードマップを確認するよう、周知がなされており、住民の方に対する避難情報を周知することの重要性が高まっています。災害はいつ、どこで発生するか分からないため、今後も、住民の皆様の生命、財産を少しでも守れるよう、分かりやすい情報発信に努めていきたいと思ひます。



陸前高田市土砂災害・洪水ハザードマップ (下矢作地区)

避難情報

警戒レベル(5段階)による避難情報が発表されたら

災害の危険が迫っている場合や、災害が発生した際に、防災行政無線などで、警戒レベルを用いたの避難情報を発令します。これらの情報を踏まえ、適切な避難行動をとってください。

警戒レベル	とるべき行動	避難に関する情報
警戒レベル5 (災害発生または切迫)	命の危険 直ちに安全確保! 災害が発生または切迫している状況において、その状況を把握することができない場合もあることから、警戒レベル5(緊急安全確保)は、必ず発令されるものではありません。	緊急安全確保
警戒レベル4	危険な場所から全員避難	避難指示
警戒レベル3	危険な場所から高齢者等は避難 高齢者や障がいのある方、乳幼児とそれらの方々の支援者など、避難をするのに時間のかかる方は危険な場所から避難を開始してください。また、その他の方は避難の準備をしてください。	高齢者等避難

わが家の備え

非常持出品チェックリスト 非常持出品とは、避難時に持ち出すもので、最低限必要なものです。

<input type="checkbox"/> 飲料水	<input type="checkbox"/> 非常食(非常食缶)	<input type="checkbox"/> 携帯電話(充電済)	<input type="checkbox"/> 懐中電灯(乾電池)	<input type="checkbox"/> マッチ	<input type="checkbox"/> ロック	<input type="checkbox"/> 軍手・上履	<input type="checkbox"/> レインコート	<input type="checkbox"/> 下着類	<input type="checkbox"/> タオル類	<input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ	
<input type="checkbox"/> ティッシュ	<input type="checkbox"/> 生理用品	<input type="checkbox"/> 傘(A・B型)	<input type="checkbox"/> 常備薬	<input type="checkbox"/> お財布(現金)	<input type="checkbox"/> 印鑑	<input type="checkbox"/> 保険証	<input type="checkbox"/> 現金(小銭も)				

☆ あらかじめ危険な場所や避難場所を確認しましょう

自宅周辺の危険箇所を確認

▶ 裏面のマップで自宅周辺にどのような災害が起こる可能性があるかを確認しましょう。

- 自宅周辺が土砂災害警戒区域等かどうかを確認しましょう。
- 自宅周辺が浸水区域かどうかを確認し、浸水区域の場合は、浸水深などを確認しましょう。
- 自宅周辺が早期の立退き避難が必要な家屋倒壊等氾濫想定区域かどうかを確認しましょう。

— 土砂災害警戒区域 —

がけ崩れ 土石流 地すべり

— 家屋倒壊等氾濫想定区域 —

氾濫流 河岸浸食

避難場所や避難経路を確認

▶ 避難場所や複数の避難経路を家族で確認しましょう。

- 自宅周辺から避難場所までの経路に危険な場所はないかを確認しましょう。

わが家の防災メモ

メ	モ	備
---	---	---

わが家の避難場所

メ	モ	備
---	---	---

☆ 気象情報や避難情報などに注意しましょう

情報の入手方法 台風の接近や低気圧などによる大雨が予想される時は、情報に注意し、避難に備えましょう。

防災行政無線

防災行政無線の放送内容を、電話やメールで確認できます。(放送が聞き取りにくい、放送を聞き逃した場合など)

① 電話(登録不要、通話無料) ☎0120-273-256
 ② メール配信(登録制)
 右のQRコードを読み取り、画面内の案内に従って登録してください。

緊急連絡メール

緊急地震速報、避難・災害情報、津波警報等が届きます。

テレビ・ラジオ

テレビのリモコンdボタンを押して、気象情報や防災情報を確認できます。

もしもの時の連絡手段

災害用伝言ダイヤル(171)
 「災害用伝言ダイヤル(171)」は、地震等の災害発生時に、被災地への通信が増加し、被災地への通信がつながりにくい状況になった場合、提供が開始されます。

災害用伝言板(web171)
 「災害用伝言ダイヤル(171)」と「災害用伝言板(web171)」との連携により、それぞれで登録された伝言内容を、相互に確認が可能です。

INTT災害用伝言ダイヤル利用方法 (電話で録音・確認)

録音は ①ダイヤル ②再生ダイヤル

録音のポイント
 ・氏名
 ・健康状態
 ・家族の安全
 ・避難場所

伝言の録音ができます 伝言の再生ができます

インターネットでのお手続きはこちら [web171](https://www.web171.jp) <https://www.web171.jp>

☆ 早めに避難しましょう

通常の避難方法 (避難時のこころえ)

家の戸締り、ガスの元栓を閉めて避難する。
 ご近所と声をかけ合って避難する。
 マンホールや側溝付近は大変危険。
 夜間に避難するのは大変危険のため、避難はできるだけ明るい時間に行う。

緊急時の避難方法

土砂災害
 無難な避難せず、土砂災害の危険な場所から離れ、丈夫な建物や自宅のけから離れた上階などへ避難し、安全を確保しましょう。

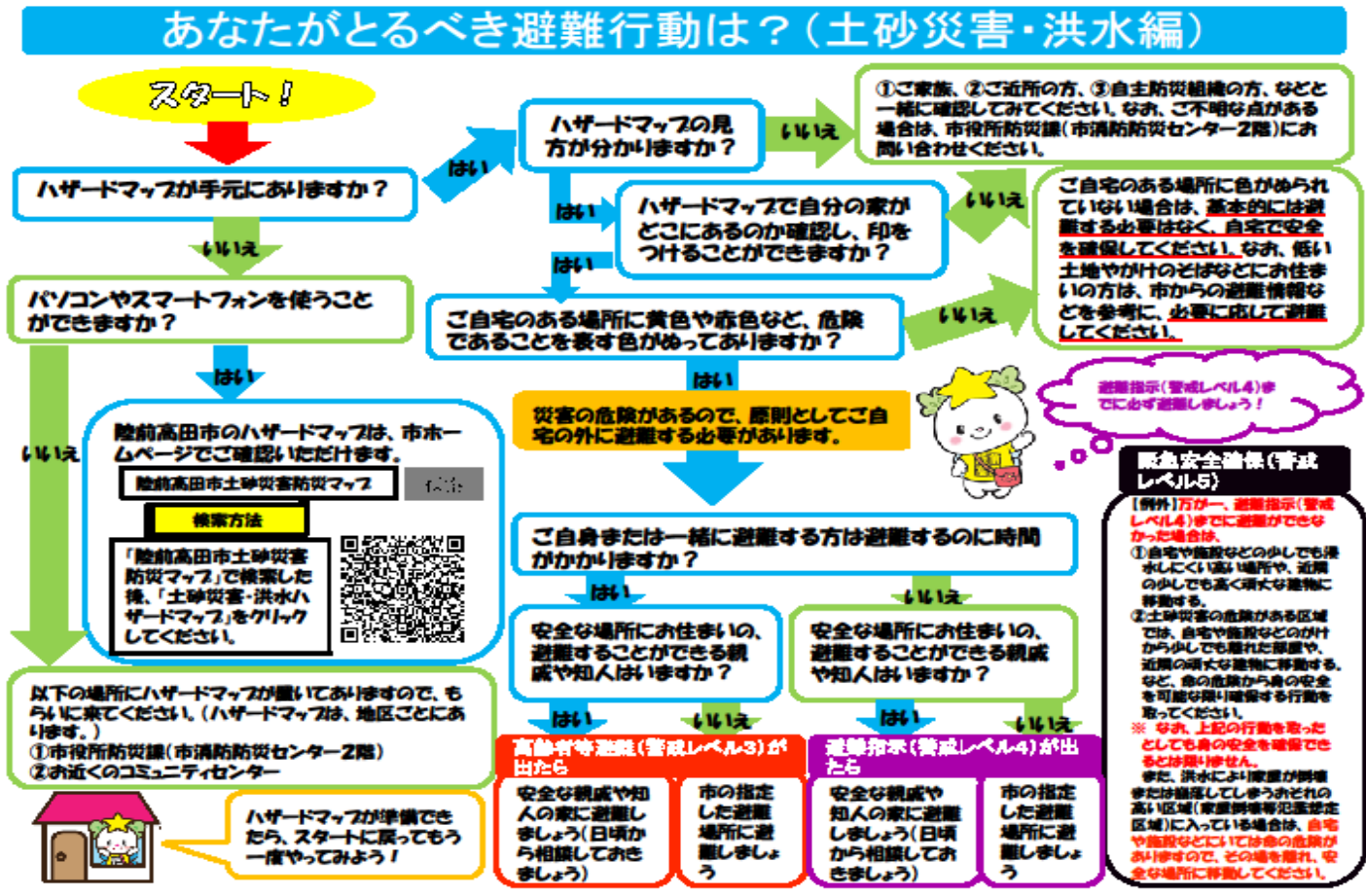
洪水
 ○すでに浸水がまっている場合や、台風などで風雨が強まっているときに外に出ることは大変危険です。
 ○無理な避難をせず、丈夫な建物や自宅の上階などへ避難して安全を確保しましょう。

☆ 避難時には「要配慮者」への支援を

～ノーマライゼーションという言葉のいらぬまづくりに向け～

高齢者 ●声をかける ●おんぶする ●腕を貸す	車いすの方 ●階段の昇り降りは、3～4人で助ける ●坂道を降りるときは後ろ向き ●乗るとき、降りるとき、止まったときはブレーキを!	視覚障がい者 ●腕を貸す ●道標は直してゆくのびやく ●盲導犬にふれない	英助 日ごろから近所づきあいを大事にし、困ったときには助け合える関係を築いておくことが大切です。
聴覚障がい者 ●筆談 ●紙を見て ゆっくり話す	妊婦・乳幼児 ●体調に気をくばる ●小さな子は おんぶする	外国人 ●身振り手振り ●伝える ●やさしい日本語	





ハザードマップの裏面に、避難情報や避難方法などの情報を掲載しています



大雨の際の避難情報が変わりました

ひなんしじ
避難指示（警戒レベル4）で必ず避難。

ひなんかんこく
避難勧告は廃止されました。

危険度 高	レベル5 きんきゆうあんぜん 緊急安全確保	<p>命の危険！直ちに安全確保！！ 災害が発生又は切迫しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません。 避難所場所等への移動が難しい場合は、近隣や自宅の安全なところへ避難してください。 	
	~~~~~警戒レベル4までに必ず避難！~~~~~		
	レベル4 ひなんしじ <b>避難指示</b>	<p><b>危険な場所から全員避難！！</b> <b>災害のおそれが高まっています。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>危険な場所からただちに避難を開始してください。</li> </ul> <p>こんな場合に「避難指示」が発令されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大雨警報、洪水警報等が発表され、災害の発生や拡大が予想されるとき</li> <li>河川の水位が上昇し、洪水発生のおそれがあるとき</li> <li>土砂災害警戒情報（警戒レベル4相当情報【土砂災害】）が発表され、土砂災害が発生するおそれがあるとき</li> </ul>	
レベル3 こうれいしゃとう <b>高齢者等避難</b>	<p><b>危険な場所から高齢者等は避難！</b> <b>災害のおそれがあります。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者や障がいのある方、その支援者などは危険な場所から避難を開始してください。</li> <li>それ以外の方も避難の準備をしてください。</li> </ul>	 	

レベル2：注意報が発表されています。自らの避難行動を確認しましょう。

レベル1：今後、警報が発表される可能性があります。災害への心構えを高めましょう。

**陸前高田市防災局防災課**

電話 0192-54-2111（内線 701～703）

裏面  
で取る  
べき  
避難  
行動  
を  
確認  
し  
ま  
し  
よ  
う

避難情報周知チラシ 表面

## 2 高田松原海水浴場について

陸前高田市には、「広田海水浴場（大野海岸）」と「高田松原海水浴場」の2つの海水浴場があります。東日本大震災津波前の高田松原は、延長約2kmの砂浜が広がり、約350年前から松の植林を行いながら、市民の手で守り育ててきた、陸前高田市の象徴でした。しかし、東日本大震災津波により、約7万本あったともいわれた松林が、「奇跡の一本松」を残してほとんどが流出し、砂浜も、震災による地盤沈下と津波により、約9割が消失してしまいました。^{※1}

砂浜の自然再生には数百年の時間が見込まれたことから、地域からの早期再生の要望も踏まえ、これまでに養浜（砂浜再生）工事や松苗の植樹などの活動が行われ、今年7月、高田松原海水浴場が11年ぶりに海開きを迎えました。

※1 「高田海岸砂浜再生事業について（令和3年7月 岩手県沿岸広域振興局土木部 大船渡土木センター作成）より抜粋





広田海水浴場（大野海岸）の様子  
（今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から海水浴場は閉鎖されています）



海水浴客でにぎわう高田松原海水浴場の様子



高田松原に植樹された松苗の様子



高田松原海水浴場に設置された海岸安全情報伝達装置  
（海岸の映像を確認するためのカメラや、大津波警報発令時などに、海岸にいる方に情報を伝達するための装置などが整備されています）

私も高田松原海水浴場に行きましたが、親子連れが多く来ておられ、大変にぎわっておりました。高田松原は「岩手の湘南」と言われており、景色も素晴らしいところですので、岩手にお越しの際は是非一度見ていただければと思います。

### 3 氷上山登山の様子について

氷上山は、陸前高田市街地の背後にそびえる山で、昔から陸前高田市民に親しまれています。標高は874.7mで、東北百名山にも数えられています。先日、休日に氷上山に登ってきました。

氷上山登山口は3つあり、私は初心者向けの中央登山口を選びました。当日は早朝に登ったため、登山客とはほとんどすれ違いませんでしたが、毎年多くの登山客でにぎわうそうです。

登山口から山頂までは約1時間30分程で登ることができ、山頂からは陸前高田市内が一望できる、非常に景色の良い場所でした。また、コースによって景色や見どころなども異なるとのことなので、また別ルートでの登山についても挑戦してみたいと思います。



中央コース入口の様子



登山道の様子



山頂付近から見た陸前高田市内の様子



山頂の様子